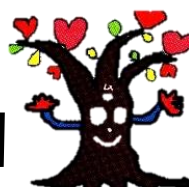




学校だより

「たぶの木」



令和4年11月
鹿児島市立武岡台小学校
児童数253名

コロナ禍でもできることを

校長 榊 まゆみ

10月30日の秋季大運動会は、素晴らしい秋晴れに恵まれ、子供たちが自分の力を出し切り頑張りぬいた素晴らしい運動会でした。スローガンの「ゴールに向かって力を合わせ、仲間を信じて勝ち取れ優勝」のとおり、連覇を達成した白組、惜しくも準優勝の赤組。どちらも一致団結した演技や競技だったことが赤組の美しい涙からもうかがわれました。

1年生、転んでも泣かずしっかりとした足どりのかけっこ。2年生、はらはらする全員リレーも見事につないだバトン。3・4年生、ぐりぶーと一緒に踊った維新Dancin' 武岡台。最高の思い出でしょう。5年生、力強い綱取り合戦。6年生、競技も演技も係の仕事も最高のお手本でした。このような頑張りが次への活力となると確信しています。



さて、11月2日と4日の自由参観日は、多くの保護者の方に授業を参観していただきありがとうございました。また、学校評議員の方々と6丁目すこやか会の方々にも授業を参観していただきました。

すこやか会の皆様からは、右のような感想等をいただき、日頃の子供たちや職員の頑張りをたくさんほめていただきました。本当に、ありがとうございました。

- ・「昔と違い全学力がつくね！」
- ・「もう一度こんな学校で学びたい。」
- ・「あんな教育機器で学んだら、私ももっと伸びたかもしれない。」
- ・「校内が整然と片づけられ気持ちがよかった。」
- ・「場に応じた設営がされ、子供のやる気を引き出す工夫がされていた。」等々

コロナ禍で、地域の皆様との連携がなかなか難しいところですが、「開かれた学校」という学校の使命を少しでも担えるよう、これからも、できることから進めていきたいと考えています。今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。